

人は誰しも幸せを求め、平和を願って生きています。しかし現実世界はその願いとは裏腹に不幸や苦悩、戦争や危機で溢れています。今日の科学文明は確かに進歩し、私たちは物質的には便利で豊かになってますが、平和で幸せな理想世界への道は閉ざされたままにあります。21世紀を迎えても人類は未だに理想世界を実現させる指導理法を持ち合わせていないのです。

縄文は靈性豊かな平和な時代でした

かつて私たちが住む日本の地に縄文の時代という素晴らしい平和で調和のとれた時代がありました。その時代の遺跡を調べると武器や戦いで死んだ遺骨は殆ど皆無に近いとのこと。

そして青森県の三内丸山遺跡に代表されるような集落が相互に交流交易し、日本列島は一つの文化圏を形成していたとのこと。そのような平和で靈性豊かな時代がなんと1万数千年も続いていたとのこと。

昭和41年、松本善之助氏により発見された日本最古の文献の一つである秀真伝（ホツマツタエ）は日本独自の固有文体である神代文字（ヲシテ）で書かれています。なんと七五調の長歌で1万行に及んでおり、縄文時代の様々な記録が詳述されています。

渡来人によって原日本は貶められて来た

私たちは漢字伝承以前に我が国に文字が無かったと思われていますが、この考えは弥生時代以後に日本を支配していった渡来人等によって、作為的に原日本を貶（おとし）め続けてきた偽りの情報だったのです。日本に固有の古代文字、神代文字があったことは世界のペトログラフィ学界でも明らかにされています。

縄文時代は私たちが想像する以上に靈性豊かな文化を持っていたことは、ホツマ文字で記録されている数々の和歌によっても、また縄文尺（35センチ）の基準のもとに列島内の各集落の建造物が造られていたことによっても明らかです。

文字があったからこそ文化文明が開かれた

言葉 → 文字 → 文化 → 文明 人類は言葉をベースに成長しています。もし、言葉とりわけ文字が無かったら、文化文明を生み出すことは不可能になってきます。

何故なら「話し言葉」は瞬時に消える一過性のものであり、情報の積み重ねが不可能であるからです。文字により記録が可能になり、時と所と人を跨（また）いで情報を伝えることが出来るようになるからです。

情報の伝達、集積によって文字を持った民族は確実に文化文明を高めてゆくことが可能になります。文字を持たない民族は原始未開のレベルで堂々巡りしてゆかざるを得ないのです。

文字発祥の地は言霊の国、霊ノ本の国

世に偶然というものはありません。同様に国名・地名にしても、その奥には由来因縁があります。「言霊の幸は

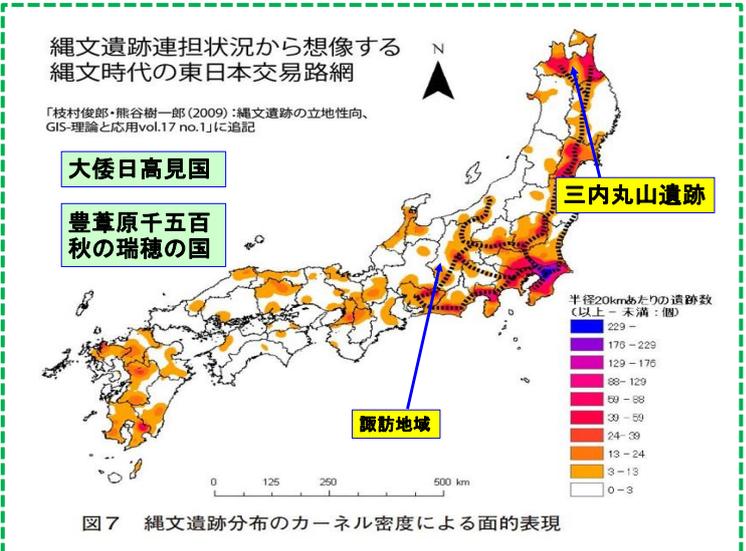


図7 縄文遺跡分布のカーネル密度による面的表現

う「国」と言い継がれてきた日本の国は、「日の本の国」「靈(ひ)の本の国」であり、お隣の朝鮮は「朝の国の意味する」国名です。大東亜戦争以後、蒋介石の要求により我が国では支那を中国と言うようになりました。しかし世界はチャイナの呼称を使っています。チャイナ＝支那(＝枝の国の意味)ですから、シナが世界の中心の国であるはずはないのです。文字発祥の地も言霊の国、靈ノ本の国と言われている日本でなければ整合性がとれないことになるのです。

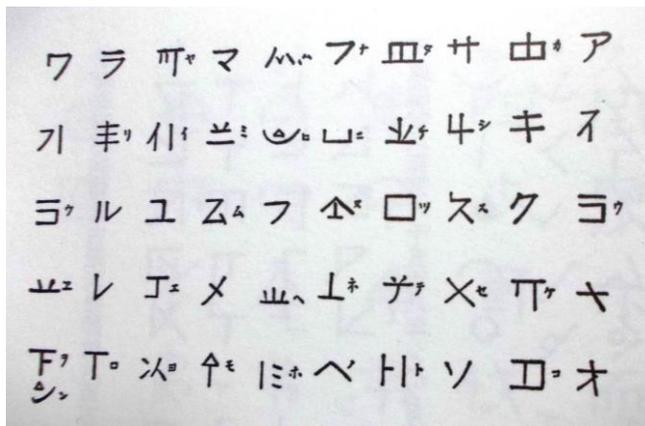
日本の神代文字が大陸に渡り漢字になった

さて、毎号の光透波だよりで紹介しているように、漢字を字割することによって宇宙の真理が読み解けるのですから、漢字は言霊の国、すなわち日本の文字と繋がりがなければ不自然なことになります。

このことを裏付け明らかにしています文献がありますので紹介いたしましょう。古代文字研究家である安藤妍雪氏の著書・「世界の言語は元ひとつ」です。



漢字の元と推理される＝カタカナの根本字



「漢字は中国で大変発育練成されてきたことは認めます。しかし漢字の元は日本から発しているのです。

今から七千年くらい前の甲骨文字が中国で発掘されています。また、二千年前のものになる『契丹古伝』が山海関で発掘されています。この古伝には漢字の源になったものが何であるかが記されています。それによりますと、漢字以前の文字は天字と言ひ、天字の前がト字で、ト字とは殷字のこと。すなわち象形文字であるとされています。そして契丹古伝に『殷、もとこれ倭国』と明記されているのです。

昔、中国では日本のことを倭国と呼んでいましたから、殷字の元は倭国の文字、すなわち日本の文字であることは、疑う余地はないと言わねばなりません」と。

この一文により、光透波によって漢字を字割すると宇宙の真理が読み解ける謎が明らかになったのです。

長い歴史の流れで埋没していますが、事実は日本の神代文字の一つである「カタカナの根本字」がチャイナに渡り、そこで漢字に合成されて日本に戻って来たと理解出来るのです。その証拠に漢字はカタカナの組み合わせによって構成されていることです。それが逆輸入されたものが漢字であると推理できるのです。

それ故に命波学＝光透波理論では、漢字＝カンジ＝完字とも表現しているのです。

世界で母音中心の言語は日本語だけです

さて、世界には大変多くの言葉の種類があります。が、その中で日本語は特異な言語とされています。それは日本語だけが母音中心の言語であるからです。他の言語は英語にしても中国語にしてもフランス語にしてもお隣の朝鮮語にしても、全て子音中心の言語です。ですから日本語が如何に特異な言語であるかが理解できるのです。

母音は母なる波動、すなわち我が子を抱擁する大いなる愛の心の波動を有しています。日本語は子音中心の他の言語と違い、母音の持つ特長である母心、包容力、和の響きを豊かに持った言語なのです。それ故に日本語は自然と宇宙と調和し、和の心を醸し出すエネルギーを発揮することができるということです。

一方、子音の波動はお互いが競い合い、独立して、自身の存在を保持しようと競い合う波動を出します。そ

れ故に自己主張の心を醸し出すエネルギーを有しているようです。このように母音と子音の響きには大きな開きがあるのです。

日本語の母音は調和と平和をもたらします

母音中心の言語(日本語)とする人と、子音中心の言語(外国語)の人とは無意識のうちに思考や意識や性格に異なりが生じてくるのは自然の流れと言えます。

この母音中心の平明で澄んだ日本語の響きの中に、どうやら日本人の国民性・調和の心を大切にする深い理由が潜んでいるのではないのでしょうか。

日本語を学ぶ外国人の多くが、日本語は「聞き取りやすい」「音の響きがきれい」などの印象を持つようです。これは母音で構成される日本語の五十音が澄んだ響きを持っているからと言えます。

今日、日本の言葉文化が危機に陥っています

ところが今日、この素晴らしい日本語が大きな危機に直面しています。それは無分別に外来語を取り入れて意味不明なカタカナ語が氾濫し、軽薄な流行語や乱れた日本語が年を重ねるたびに蔓延していることです。

「言葉の乱れが波動の乱れ、心の乱れ、世の乱れ」になってゆくのですから、現代に生きる私たちは、日本語の乱れを正してゆく必要があります、その責任が現代に生きる私たちにはあることに気付く必要があるのです。

光透波は言葉の乱れを正し、幸せを運ぶ言波学です

人類にとって言葉ほど尊く重要なものは無いのです。何故ならもし言葉が無かったらコミュニケーションが取れなくなり、人類の文化文明の一切が崩壊自滅してしまうことは明らかでありましょう。ところが人類は、特に現代人はこの言葉の重要性に気づくことなく、道具の一つと錯覚し、乱用し、誤用し、悪用して、自身のエゴの心をたぎらせ、錯覚を繰り返して、波動を乱し、全世界的に危機と混乱を招いているのです。

言霊の幸はう国と言われてきた日本の国に、言葉の奥に秘められた深意＝真意＝神意を読み解く新しい思考様式＝光透波理論が生み出されているのです。それが光透波＝コトハ＝光の透明な波動。

光透波はこの言葉の乱れを正す哲理として、文字や言葉の奥の深意＝真理を読み解いて、迷える現代人の活路開く言霊学なのです。詳しくは各セミナーへ、またはホームページへアクセスしてください。文責 宿谷

日本語は唯一の母音中心の言語

宇宙には音霊50音が鳴り成り響いており、その音霊、言霊の力によって森羅万象が生成流転している。その音霊の究極の波動が光透波。

不思議なことに
英語で木を Tree (ツリー)
ツリー＝吊り → 逆さの木 → 榊

日本語は世界にある6500から7000の言語のうち、唯一の母音系の言語であり、宇宙に最も繋がっている本家筋の言語なのです。

10月 光透波セミナーのご案内

●光の言波・真理教室 (第159回 光透波セミナー)

- 日 時 10月20日(日) PM 1:30~PM4:45
- 場 所 神明いきいきプラザ 集会室 A(4F) 東京都港区浜松町1-6-7
- 演 題 「50音発声の仕組みと日本語」 JR浜松町(北口) 地下鉄大門(B1)各4分
- 講 師 宿 谷 直 晃 ●参加費 3,000円

●Zoom講座

- 10月 8日(火) PM 8:00~PM10:00 ●演 題 「字割のポイント」
- 講 師 宿 谷 直 晃 ●新規参加者 歓迎

※ お申込み、お問い合わせは宿谷へ syu98-8do8@mbr.nifty.com 090-2447-2037

●名古屋 命波学講座

- 日 時 10月 3日(木) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第13回
- 日 時 10月 7日(月) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第14回
- 日 時 10月 9日(水) PM 2:30~PM5:30 和やか会
- 日 時 10月22日(火) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第14回
- 日 時 10月23日(水) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第16回
- 日 時 10月24日(木) AM10:00~PM2:00 基礎講座 第3回
- 場 所 實光透波スペース 名古屋市名東区香南1-103-8-201
- 講 師 堀尾君子 ●参加費 各3,000円

※ 命波学受講の日時調整可。お申し込み、問い合わせは堀尾へ 090-8499-5989

●名古屋塾 (シン光透波)

午前の部

- 日 時 10月21日(月) AM 10:00~PM 0:00
- 演 題 「自分とは？生命の謎解き」

午後の部

- 日 時 10月21日(月) PM 1:00~PM 3:00
- 演 題 「存在と認識の仕組み」

- 場 所 勸善寺 地下鉄「今池」徒歩3分
名古屋市千種区仲田2-16 問合せ 090-9199-0248
- 参加費 各3,000円 両方受講 5,000円
- 講 師 磯部賢一

●熱田神宮参拝と光透波のお話し会

- 日 時 10月12日(土) AM 10:00~PM 1:00
- 場 所 熱田神宮 (集合は神宮会館前) ●参加費 3,000円
- 演 題 「神様とエネルギー」 ●講 師 磯部賢一

●光透波 Zoom講座

- 10月 4日(金) PM8:00~ PM10:30
- 演 題 「天鏡図・手書き解説」
- 講 師 磯部賢一 ●参加費 10000円 (個人レッスン付)

※ 以上、お申込み、お問い合わせは磯部へ isoiso837@gmail.com 090-9199-0248

●はりま 言霊セミナー

- 日 時 10月 7日(月) PM 2:00~PM 4:00
- 場 所 林仙山荘 2F 兵庫県播磨町西野添2-5-12
- 演 題 「真の健康、真の美容、真の開運を同時に実現する唯一の方法」 ●参加費 3000円
- 講 師 林和也 ※ 講座の申し込み先 090-8580-3776 (林まで)

光透波

- ・ 實光透波研究会 名古屋市名東区香南1-103-8-201 堀尾君子 090-8499-5989
- ・ シン光透波塾 名古屋市熱田区旗屋2-16-4 磯部賢一 090-9199-0248
- ・ 光の言波, 真理教室 東京都品川区小山6-19-5 宿谷直晃 090-2447-2037
- ・ 光透波言霊セミナー 兵庫県播磨町西野添2-5-12 林和也 090-8580-3776